

## インターバンクの声（2015年7月24日）

毎週木曜日、東京時間の午後9時半（冬時間では10時半）に米新規失業保険申請件数の発表があり、その結果次第で時折市場も反応を見せるが、昨晚の反応度合いは特別大きかった。この数ヵ月間、申請件数は概ね26万台半ばから28万台で推移していたが、昨晚の数字は25万5千件。この数字は、実に40年ぶりの低水準だったらしい。季節的調整の影響も多少あったようだが、企業が成長を見込んで本格的に従業員の確保に取り組んでいる証との評価も出ていたようで、下半期の米経済の成長が引き続き見込める新たな要因として来週以降の数字にも注目したい。ただ、指標後のドル買いが長い時間維持できず、建設機械大手キャタピラーや事務製品大手スリーエムなど大手企業のさえない決算を受けた株価の値下がり原因だった。当然ながら同時並行的に見られた米債利回りの低下もドルの上値を抑えることになった。昨晚だけを見ても、米経済の強い部分と弱い部分が両方垣間見られ、年内の利上げ時期の検討がなかなか付きづらい。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。